

# 平成30年度 事業報告

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

公益財団法人不二たん白質研究振興財団

## 1. 事業の概況

平成30年度は当財団として第22期を無事終えました。当財団は平成24年4月1日を以って公益財団法人に移行後も引き続き事業を継続しており、更なる発展を期して活動して参りました。

本年度も研究助成事業（研究助成事業、報告会事業、報告誌事業）を例年通り実施し、広報事業では、ホームページ更新などに加え、札幌市において栄養士・一般を対象に公開講演会を開催し、220名を超える参加者が集まりました。また、ホームページを利用して、広報活動・公募手続きのウェブ化に引き続き、検索システムの改訂などの機能充実を図っております。

さらに、関係者に限定せず、研究報告会を研究助成やその広報に関連する機関に対して御案内し、当財団事業をより広範に知って頂くことができました。

## 2. 事業報告

### 1. たん白質に関する研究及びこれに関連する研究を行う者に対する研究助成事業

#### (1) 平成29年度研究報告会の開催

平成29年度（第21期）助成課題として採択された被助成者は1年間の研究期間を終えて、平成30年5月28日、29日の二日間にわたり「WTCコンファレンスセンター」(浜松町)に一堂に会して研究成果を報告して頂き、活発な討議が行われました。

特定研究課題4題と一般研究課題21題、8回目の発表になる若手研究者課題11題の計36件の報告がありました。特定研究では二年前に採択された2課題及び一昨年、昨年採択されたそれぞれ1課題の合計4件の口頭による報告があり、一般研究では、広範な学術分野に渡って大豆・大豆たん白に関わる多彩な報告がなされ、それぞれの研究報告に対して各分野からご出席の先生方による熱心な討議が行われました。また、若手研究者枠ではポスターを囲んで各発表者の発表と質疑が行われ、専門分野の枠を越えて活発な論議が行われました。今回も官公庁、独立行政法人並びにマスコミ分野の各位にご出席のご案内をさせていただきました。

#### (2) 平成28年度研究報告記録誌の刊行並びに平成29年度研究報告記録誌の編集

平成28年度（第20期）に採択され、平成29年度にその助成成果が報告された内容を掲載した研究報告会記録誌「大豆たん白質研究」第20巻は平成30年6月に刊行し、関係者、希望者に無料で配布されました。本誌はISSN1344-4050、CODEN DTKEFVとして公開され、国会図書館等で閲覧することができ、また、科学技術文献データベース(JICST)で検索が可能です。

また、平成29年度（第21期）に採択された被助成者による研究成果を掲載する研究報

告会記録「大豆たん白質研究」第21巻の編集作業は概ね完了し、平成31年6月刊行を予定しています。

### (3) 平成30年度研究助成金の支払い

前年度において採択された平成30年度（第22期）の一般研究への助成として、22件の課題に対して総額22,000千円を支払い、また若手研究者枠の助成では10件の課題に対して総額5,000千円を支払いました。同時に、特定研究への助成として、前々年度、前年度採択課題2件に対して10,000千円を支払いました。これらの研究成果は、平成31年5月末に開催予定されている研究報告会において報告されます。

### (4) 令和元年度（2019年度）研究課題の選考

平成30年9月～11月の間に財団ホームページに募集要項を告知し、学会誌並びに学会ホームページ等に募集要項を掲載して、令和元年度（第23期）の研究助成の課題を募集したところ、各研究枠に対して多数の応募がありました。

応募課題について選考委員長の京都大学松村康生教授を中心に、選考委員の熱心な検討が行われ、所定の手続きに従い、一般研究課題として20件が採択され、若手研究者枠は10件が採択されました。特定研究の選考では、まず新規応募課題4件につき研究の意義や実施体制等について慎重なる議論が行われ、審議の結果1件の新規課題採択となりました。また、継続課題1件については、研究が順調推移していることから、引き続き採択とされました。この選考結果は速やかに各研究者に通知されました。

## 2. たん白質に関する研究及びそれに関連する研究に関する広報事業

### (1) 平成29年度研究成果の広報

研究報告会記録「大豆たん白質研究」第20巻に掲載された報告内容はインターネット上で検索システムを付けて公開し、随時閲覧が可能としました。

### (2) 公開講演会の開催

平成30年9月29日に栄養士・一般の方を対象に「大豆のはたらきin札幌ーおいしさと健康を通してー」と題して、実行委員長を北海道大学大学院農学研究院教授 原 博先生とし、札幌グランドホテルにて公開講演会を開催しました。

#### 講演1. 食資源としての北海道産大豆の魅力

北海道立総合研究機構道南農業試験場 場長 加藤 淳 先生

#### 講演2. ミレニアム世代が変える食の未来

早稲田大学文学学術院 招聘研究員 品田 知美 先生

#### 講演3. 大豆の生きる力とその利用：大豆ペプチドの高血圧予防作用を中心に

九州大学大学院農学研究院 教授 松井 利郎 先生

今回も関係各学会に加えて農林水産省と開催地である札幌市の後援を得て、当日は220名を超える聴講者の方に参加頂きました。

### 3. その他目的を達成するために必要な事業

#### (1) 事業時報の発行

財団の内容説明と事業紹介のため「時報」第21号を刊行しました。

今年度は例年通りの1年間の事業報告のほかに、財団設立以来20年間の事業実績のとりまとめ、特別企画〈財団設立20年のあゆみ〉を掲載いたしました。

#### (2) 事業活動等の公開

平成29年度の事業報告・決算報告並びに財務内容、及び本年(平成30年)度の事業計画・予算を総てインターネット(<http://www.fujifoundation.or.jp>)上に公開しました。ここには役員・評議員等関係者の随想も掲載されています。加えて、ホームページ中で改訂が遅れていた報告会記録誌「大豆たん白質研究」の検索システムも改訂しました。

#### (3) 平成29年度公開講演会記録誌発刊

平成29年11月6日開催の公開講演会「大豆のはたらき in 大阪 -おいしさと健康を通して-」記録誌の発刊については、大幅に遅れておりますが、今秋発刊を目指し編集作業を進めております。

### 3. 会議等 注) 文書中決議事項は(議)を付した。

#### 1. 理事会

##### (1) 第1回理事会の開催：定款第44条による決議

日時：平成30年5月8日(決議があったものとみなされた日)

事項：平成29年度事業報告の承認

平成29年度決算に関わる計算書類の承認

定時評議員会(第1回評議員会)招集についての承認

##### (2) 第2回理事会の開催

日時：平成30年5月29日

場所：WTCコンファレンスセンター38階「フルール」(東京都港区)

議題：平成29年度事業報告について

平成29年度決算に関する計算書類について

次期役員の選任について(議)

代表理事・理事長の選任について(議)

業務執行理事・常務理事の選任について(議)

補欠選考委員の選任について(議)

事務局の体制について(議)

令和元年度研究助成課題募集について(議)

平成30年度行事日程等について(議)

大豆の健康・栄養に関わる情報について

代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

- (3) 第3回理事会の開催：定款第44条による決議  
日時：平成30年12月26日（決議があったものとみなされた日）  
事項：平成30年度臨時評議員（第2回評議員会）招集に関わる事項  
内容：令和元年度事業計画案及び令和元年度予算案について
- (4) 第4回理事会の開催  
日時：平成31年1月29日  
場所：千里阪急ホテル 葵の間（豊中市）  
議題：令和元年度事業計画案について（議）  
令和元年度予算案について（議）  
令和元年度研究助成課題の採択について（議）  
補充評議員の選任について  
次期選考委員の選任について（議）  
基本財産の取り扱いについて（議）  
事務局の体制について（議）  
日程について（議）  
研究助成課題の研究領域について  
代表理事及び業務執行理事の執務の状況について

## 2 評議員会

- (1) 定時評議員会（第1回評議員会）の開催  
日時：平成30年5月29日  
場所：WTCコンファレンスセンター38階「フルール」（東京都港区）  
議題：平成29年度事業報告について（議）  
平成29年度決算に関する計算書類について（議）  
その他報告事項（内容は同日開催の第2回理事会参照）
- (2) 臨時評議員会（第2回評議員会）の開催  
日時：平成31年1月29日  
場所：千里阪急ホテル 葵の間（豊中市）  
議題：令和元年度事業計画案について（議）  
令和元年度予算案について（議）  
補充評議員の選任について（議）  
その他報告事項（内容は同日開催の第4回理事会参照）

## 3 選考委員会

- (1) 第1回選考委員会の開催  
日時：平成30年5月28日  
場所：WTCコンファレンスセンター38階「フルール」（東京都港区）  
議題：令和元年度研究助成課題募集要項について 他

(2) 第2回選考委員会の開催

日時：平成31年1月29日

場所：千里阪急ホテル 紅梅の間 (豊中市)

議題：令和元年度助成課題の選考について 他

附属明細書の作成について

1. 事業報告に関して、その内容を補足する重要な事項はありませんので、附属明細書は作成していません。

以上